

2024. 10. 13 開催 生涯研修演題と抄録

高瀬 直（たかせ なおき）先生

演題『今こそ知りたい！デジタル技工とアナログ技工の
守備範囲、適応範囲』



contents

- ・従来法より高精度？IOS フルデジタル技工のエビデンスと実際
- ・どこまで詰めればいい？正解のないクラウンの咬合
- ・IOS と上手に付き合う勘所

「フルデジタル、楽しすぎく高精度でとても良いよ！」

「デジタルはまだまだアテにならないよ、頼り切るのは不安だなあ」

なかなか意見の分かれるところだと思います。

実際、どうなのでしょう？

治療成果の良し悪しを、定量的に評価する方法があるのでしょうか。

そこで当講演ではデジタル技工とアナログ技工の守備範囲、適応範囲をテーマとし、エビデンスと臨床の両面からデジタル技工を検証したいと思います。

≪講師略歴≫

2005 年 浦和学院高等学校美術科 卒業

2008 年 日本大学歯学部附属歯科技工士専門学校 卒業

2023 年～現在 Dental Labor Gross 主任歯科技工士

株式会社松風 公認インストラクター

情熱会

川口ペリオインプラント研究会

EL 会

IPSG 包括歯科医療研究会

日本顎咬合学会 技工部部員

有床義歯学会

歯科技工所協会理事長賞 受賞

第 14 回歯型彫刻コンテスト「ほるほる」 優秀賞

第 15 回歯型彫刻コンテスト「ほるほる」 最秀賞

ドイツシルバーマイスターの称号を持つ大畠一成氏のラボである Dental Labor Gross にて、主任歯科技工士として勤務。株式会社松風の公認インストラクターとして技術指導を務める他、各地で講演活動ならびに論文執筆活動を行っている。